

平成26年10月17日
三条市地域自立支援協議会

第3期三条市障がい福祉計画の検証について

1 重点取組事項

(1) 高齢化等に対応したサービス提供体制づくり

- ・地域自立支援協議会において、「高齢化を見据えた居住支援の在り方」として、基幹型グループホームの必要性を取りまとめた。(平成25年度)
- ・三条市においては、協議会の検討内容を反映させる形で、長久の家の老朽化への対応と合わせて、障がい者居住支援拠点施設の整備に着手することとした。(平成26年度)
- ・整備の進捗状況は、平成26年度内に造成工事、本体の基本・実施設計を完了予定。

(2) 効率的なサービス提供体制の促進

- ・3法人が共同運営する障がい者拠点施設「グッデイいきいきサポートセンター」を整備し、平成24年7月に供用を開始した。
- ・相談支援ケース検討会を年6回開催し、個別事例の検証を通じて相談支援専門員のスキル向上を図った。
- ・特別支援学校の進路希望やサービス事業者の空き状況について、年1回情報交換会を開催し、関係者で情報共有を行った。
- ・介護保険サービスとの併用の適正化を図るため、ケアマネジャーと相談支援専門員による意見・情報交換会を開催した。(平成24年度)
- ・地域自立支援協議会において、地域の相談支援体制の課題を整理し、「相談支援体制の見直しの方向性」の取りまとめた。(平成25年度)
- ・平成26年度内に、相談支援専門員の適正配置や基幹相談支援センター設置の可否について、具体的な取組や方向性を取りまとめる予定。

(3) 自立の促進・(4) 地域理解と地域社会への参加の促進

- ・アークランドサカモト株式会社障がい者福祉基金を活用し、工賃アップや地域交流を促進するため、障がい者福祉活動サポート交付金制度を導入した。(平成24年度)
- ・第3期期間内に、当該制度を活用した活動として、事業者等により工賃アップ8件、地域交流22件の取組が行われた。
- ・サポート交付金交付式を年1回開催し、活動の発表会を通じて、関係者で情報共有を行った。また、実務者で意見交換会を開催し、活動内容の検証を行うとともに、サポート交付金制度の見直しを行った。
- ・障がい者拠点施設「グッデイいきいきサポートセンター」に、市内事業所で連携して共同受注窓口を設置し、大口受注に対応する仕組みを確立した。(平成24年度)
- ・受注機会の拡大を図るため、市福祉課に調達推進窓口を設置した。また、平成26年度内に、共同受注窓口との連携の仕組みを確立する予定
- ・一般就労や受注機会の拡大を図るため、企業向けのパンフレットを作成し、市内企業（従業員30人以上）にダイレクトメールで郵送するなど、企業へのアプローチを強化した。(平成25年度)

2 平成 26 年度の数値目標と進捗状況

※ 平成 26 年度の実績値は、平成 26 年 10 月 1 日現在の数値です。

(1) 施設入所者の地域生活への移行

ア 地域生活移行者数

施設入所から地域生活に移行する人数

○目標値

目標値	目標年度	目標値の考え方
21.3% (20 人)	平成 26 年度	平成 17 年 10 月 1 日時点の入所者数 (94 人) の 20%以上が地域生活に移行すること。(目標値は、第 1 期からの累計値) 20 人

○進捗状況

区 分	1・2 期	H24	H25	H26	備 考
移行実績 (単年)	—	3 人	2 人	1 人	
移行実績 (累計)	11 人	14 人	16 人	17 人	
移行割合 (累計)	11.7%	14.9%	17.0%	18.1%	

※ 第 1 期からの累計で、17 人が地域生活 (グループホーム・在宅) に移行しており、少しずつ移行が進んでいる。

イ 施設入所者の削減

施設入所者を削減する人数

○目標値

目標値	目標年度	目標値の考え方
▲1.1% (▲1 人)	平成 26 年度	施設入所者数を平成 17 年 10 月 1 日時点の 94 人から 1 %以上削減すること。(障がい児入所施設に入所している 18 歳以上の者は、対象外)

○進捗状況

区 分	H24	H25	H26	備 考
年度末入所者数	103 人	103 人	103 人	
削減実績 (単年)	9 人	9 人	9 人	
削減割合	9.6%	9.6%	9.6%	

※ 第 3 期の期間内に、地域移行、介護施設への移行等により、11 人が入所施設を退所したが、待機者など新たに 11 人が入所したため、施設入所者数の削減は進んでいない。

(2) 福祉施設から一般就労への移行

福祉施設を利用し、一般就労へ移行する人数

○目標値

目標値	目標年度	目標値の考え方
2 倍 (8 人)	平成 26 年度 (最終年度目標)	一般就労に移行する者の数値を平成 17 年度の一般就労への移行実績(4 人)の 2 倍以上とすること。

○進捗状況

区 分	H24	H25	H26	備 考
移行者数(単年)	12 人	8 人	4 人	

※ 第 2 期までの一般就労への平均移行者数は年間 4.5 人だったが、第 3 期の平均移行者数は年間 8 人と大幅に増加している。

(3) 就労移行支援事業の利用者

福祉施設利用者のうち、就労移行支援事業を利用する者の割合

○目標値

目標値	目標年度	目標値の考え方
8 %	平成 26 年度 (最終年度目標)	福祉施設利用者のうち、8 %以上の者が就労移行支援事業を利用すること。

○進捗状況

区 分	H24	H25	H26	備 考
就労移行支援事業利用者数	21 人	26 人	28 人	
福祉施設利用者数	398 人	410 人	421 人	
利用割合	5.3%	6.3%	6.7%	

※ ともしび工房とピュアハウスが、就労移行支援事業を開始したことなどにより、就労移行支援事業の利用者及び利用割合が増加している。

(4) 就労継続支援A型事業の利用者の割合

就労継続支援事業の利用者のうち、就労継続支援A型事業を利用する者の割合

○目標値

目標値	目標年度	目標値の考え方
20%	平成26年度 (最終年度目標)	就労継続支援事業(A・B型)利用者のうち、20%以上の者が就労継続支援A型事業を利用すること。

○進捗状況

区 分	H24	H25	H26	備 考
就労継続支援A型事業利用者数	26 人	32 人	35 人	
就労継続支援A・B型事業利用者数	174 人	174 人	185 人	
利用割合	14.9%	18.4%	18.9%	

※ 障がい者拠点施設「グッデイいきいきサポートセンター」やスノーピークウェルの開設により、就労継続支援A型事業のサービスが拡充されことで、利用者及び利用割合が増加している。